

# 名栗地区



紅葉の鳥居観音

名栗地区は、飯能市の西部に位置し、全域が県立奥武蔵自然公園に指定され、地区の97%がスギ、ヒノキの山林という緑豊かな自然と清流に囲まれた「自然の美術館」である。

近年、そうした自然と景観を求めハイキングやキャンプ、川遊びやサイクリングなど観光を目的とした来訪者も多く、年間を通じて賑わいを見せている。

## 活動実績

名栗地区まちづくり推進委員会は平成22年1月に発足し、これまでアクションプランに基づき、各事業部により活動を進めてきた。

- ・里山活性化事業は、自生する竹を伐採・加工して杖を作成し、ハイキングコースへの設置や補充、ハイキングコースの最寄りバス停に西川材を使ったベンチの設置、補修を行った。
- ・ホタルの里づくり事業は、ホタルの餌となるカワニナの放流により、ホタルが名栗地区全域に増え、「名栗のほたる観賞の集い」など、イベントの実施に繋がっている。
- ・景観整備事業は、会員と住民が協力し、地区内峠（小沢峠、天目指峠、正丸峠、山伏峠）の清掃作業（草刈り、ゴミ等の除去）を継続的に実施している。  
また、歴史的資源なども、清掃作業を実施することで守っている。
- ・イベント事業は、地区内で開催されるイベント（名栗地区大運動会）などに協力し、名栗地区内の住民の交流を図った。  
また、名栗地域の伝統芸能として位置づけ、今後も継承できる仕組みづくりに取り組んだ。

## 現状と課題

山間地域で特に顕著である少子高齢化と人口減少は、まちづくり推進委員会の活動に限らず、地区全体のコミュニティづくりや他の活動団体の存続にも影響している。また、公共交通機関の存続・維持に向けた取り組みも重要な課題となっている。

そのような中で、名栗地区にとって、必要な事業を効果的に実施していくため、「会員相互のコミュニケーションの充実」、「新たな会員の確保に努める」、「合理的な役割分担」、「新たな視点による取り組みの検討」など、魅力的な事業を展開していくことが必要である。

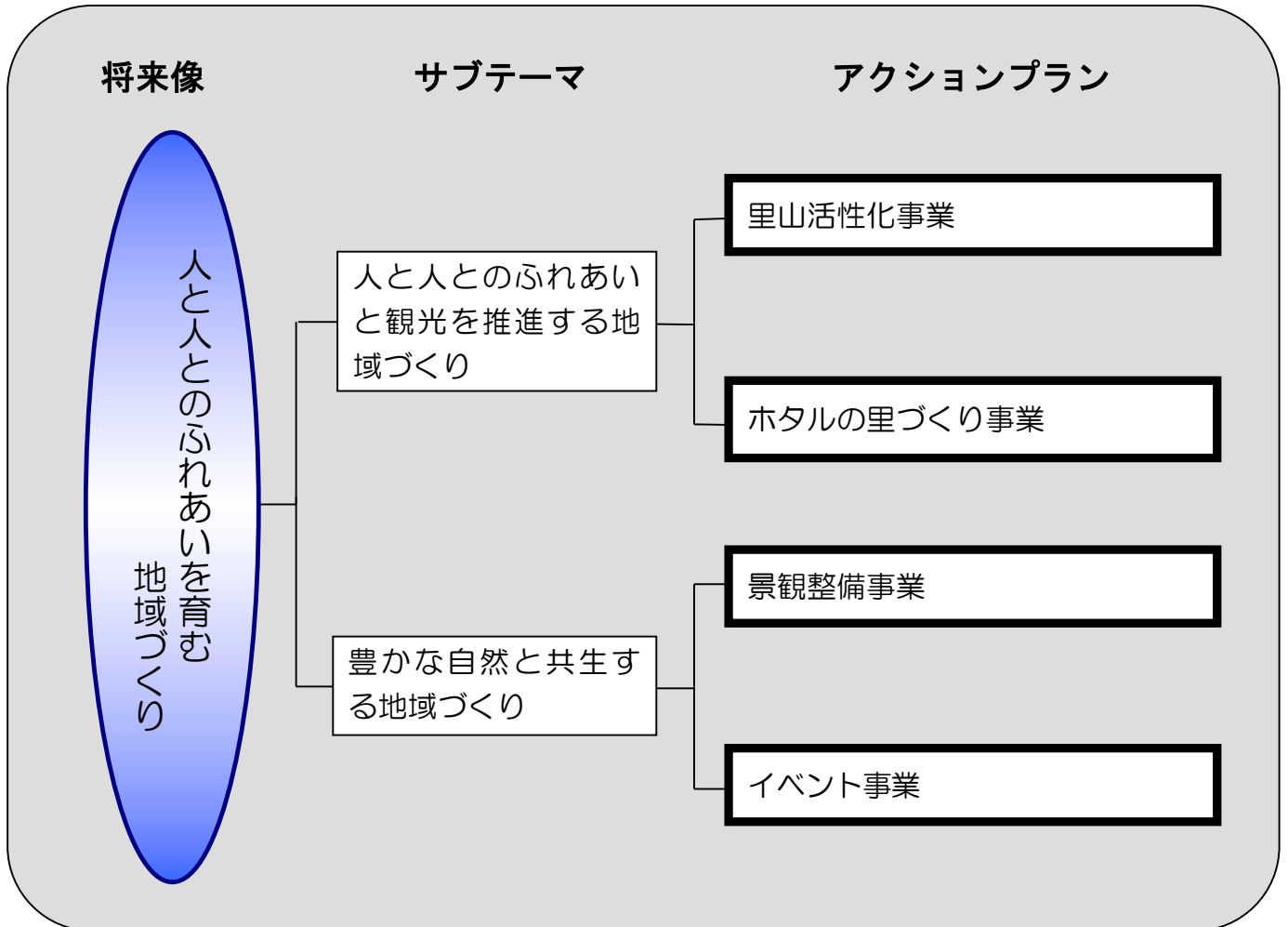
## 将来像

人と人とのふれあいを育む地域づくり

## サブテーマ

- 人と人とのふれあいと観光を推進する地域づくり
- 豊かな自然と共生する地域づくり

# 名栗地区協働計画「アクションプラン」



名栗湖畔より棒ノ嶺方面を望む

## ★アクションプラン①「里山活性化事業」

### 〔目的〕

西川材のPR

### 〔取り組み方〕

- ベンチの製作
- 杖づくり
- 丸太雛の製作、手伝い



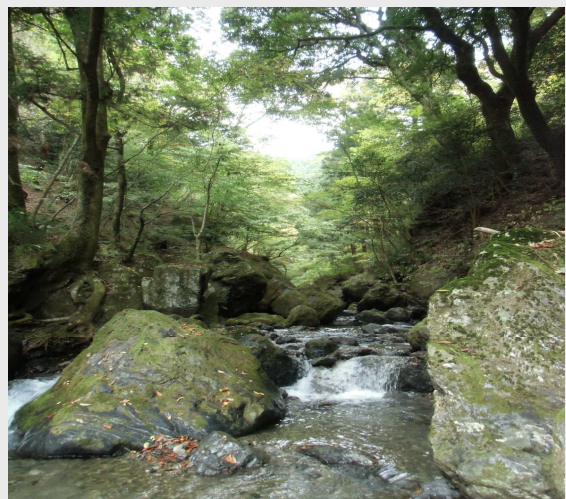
## ★アクションプラン②「ホタルの里づくり事業」

### 〔目的〕

河川環境整備

### 〔取り組み方〕

カワニナの放流



ホタルが飛び交う名栗の清流

## ★アクションプラン③「景観整備事業」

### 〔目的〕

- 名栗地域の美化
- 観光地としての魅力アップ

### 〔取り組み方〕

沿道、河川の清掃



河川敷での景観整備作業  
(下名栗地内) →

## ★アクションプラン④「イベント事業」

### 〔目的〕

地域住民の地域のイベントへの参画

### 〔取り組み方〕

名栗音頭の継承



鳥居観音灯笼流し終了後の盆踊りの様子



埼玉県立名栗げんきプラザ ●

松木の観音堂 ●

檜渕諏訪神社 ●



入間川（名栗川）



なぐり杖設置場所



景観整備作業



棒ノ嶺山頂

アクションプラン④  
イベント事業

アクションプラン③  
景観整備事業

# 名栗地区アクションプランマップ



なぐり杖の設置場所

星宮神社

名栗地区

行政センター

さわらびの湯

名栗カヌー工房

有間溪谷観光釣り場

アクションプラン②  
ホタルの里づくり事業



景観整備作業



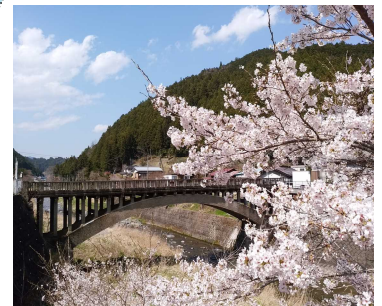
水生生物観察会



ノーラ名栗

名栗地区の観光拠点として、豊かな自然の中で、サウナテントやバーベキュー、グランピングなど北欧文化が体験できます。また、ステージを活用したイベントも開催されます。

アクションプラン①  
里山活性化事業



名栗川橋

景観整備エリア  
(全 域)